

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-66140(P2006-66140A)
 【公開日】平成18年3月9日(2006.3.9)
 【年通号数】公開・登録公報2006-010
 【出願番号】特願2004-245566(P2004-245566)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/04 Z

H 0 1 M 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月12日(2007.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固体高分子電解質膜の両面内に触媒層が積層された燃料電池用膜電極接合体において、前記接合体は透湿度 $0.01 \text{ g} / (\text{m}^2 \cdot \text{day})$ 以下、かつ、酸素透過量 $0.01 \text{ ml} / (\text{m}^2 \cdot \text{day} \cdot \text{atm})$ 以下の密閉容器内に保管されると共に、

触媒層及び電解質膜の端面と、電解質膜のうち前記触媒層が積層されていない面と、前記密閉容器とで形成される空間を不活性ガスでパージすることで前記密閉容器内の酸素を除いた雰囲気とし、更に前記電解質膜の端面と前記密閉容器とは接触させず前記電極接合体を保管すること

を特徴とする燃料電池用膜電極接合体の保管方法。

【請求項2】

前記電解質膜の両面に積層された触媒層のそれぞれの表面には多孔質カーボン電極が接着されている請求項1記載の燃料電池用膜電極接合体の保管方法。

【請求項3】

前記多孔質カーボン電極のそれぞれの表面には更に高分子系のフィルム樹脂が付着されてなる請求項2記載の燃料電池用膜電極接合体の保管方法。

【請求項4】

前記電解質膜の最外に積層された層のうち前記電解質膜側とは反対の表面は、前記密閉容器と密着している請求項1～3の何れか一項に記載の燃料電池用膜電極接合体の保管方法。

【請求項5】

不活性ガスは窒素ガスである請求項1～4の何れか一項に記載の燃料電池用膜電極接合体の保管方法。

【請求項6】

不活性ガスはパージ前の容器内のガスと同じ湿度である請求項1～5の何れか一項に記載の燃料電池用膜電極接合体の保管方法。